

# コネクタログの収集 – Webexコール

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[デバッグレベルでゲートウェイコネクタのログを収集する手順](#)

[コネクタログのエクスポート](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、デバッグモードでCisco IOS管理対象ゲートウェイコネクタ(MGC)のログを収集するプロセスについて説明します。

## 前提条件

### 要件

完全な管理者権限を持つコントロールハブへのアクセス。

ローカルゲートウェイのCLI ( コマンドラインインターフェイス ) へのアクセス。

Connector GuestShellへのアクセス。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- コネクタアプリケーション(GuestShell)
- Cisco IOS XEソフトウェアバージョン : 17.15.01a
- スクリプト・バージョン : 3.1.1

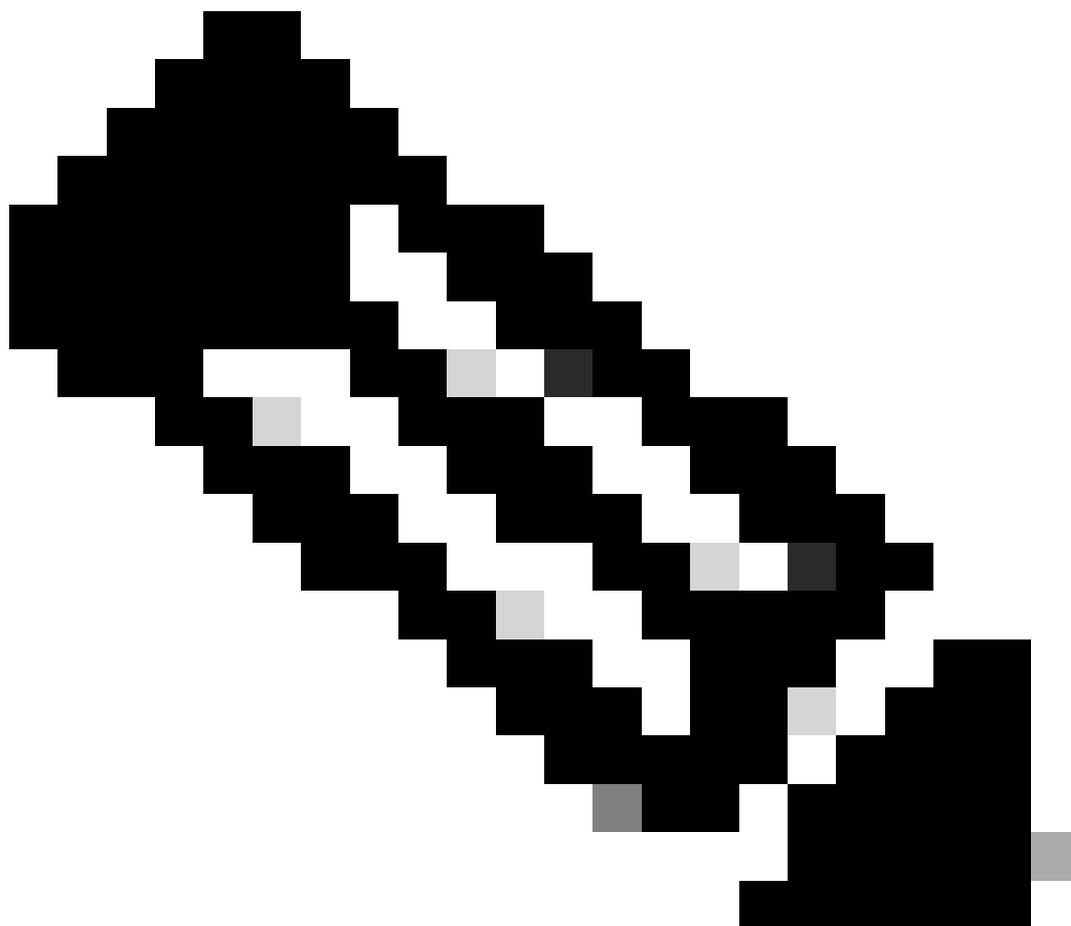
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

ゲートウェイコネクタは、Cisco IOS XE GuestShellコンテナにインストールされて実行される小規模なアプリケーションで、コントロールハブへのセキュアな接続の維持、イベントの調整、お

よびステータス情報の収集に役立ちます。

---



注：ゲートウェイコネクタの詳細については、「[Cisco IOSマネージドゲートウェイのWebexクラウドへの登録](#)」を参照してください。

---

コネクタに問題がある場合、トラブルシューティングを行うには、コネクタはデバッグレベルでログインする必要があります。

## デバッグレベルでゲートウェイコネクタのログを収集する手順

ステップ 1：コンソールまたはSSH接続を使用してゲートウェイにサインインし、次のコマンドをコピーしてルータexecコマンドプロンプトに貼り付けます。

```
tclsh https://binaries.webex.com/ManagedGatewayScriptProdStable/gateway_onboarding.tcl
```



注：任意の時点で、`tclsh bootflash:gateway_connector/gateway_onboarding.tcl`または  
`tclsh`  
`https://binaries.webex.com/ManagedGatewayScriptProdStable/gateway_onboarding.tcl`を  
使用して、TCLスクリプトを直接起動（または再起動）できます。

ステップ 2：コネクタのメインメニューが表示されます。

```
=====
Webex Managed Gateway Connector
=====

Options
s : Display Status Page
v : View and Modify Cloud Connector Settings
e : Enable Guestshell
d : Disable Guestshell
l : Collect Logs
r : Clear Logs
u : Uninstall Connector
p : Apply Patch
```

q : Quit

```
=====
Select an option from the menu:
```

vを押して、オプションView and Modify Cloud Connector Settingsを選択します。

ステップ 3 : 次のメニューでlを押して、Cloud Connectorのログレベルを変更します。

```
=====
Webex Managed Gateway Connector
=====
```

```
Script Version      : 3.1.1
Hostname/IP Addr   : X.X.X.X
DNS Server(s)      : X.X.X.X 8.8.8.8
                   : X.X.X.X
Gateway Username   : doctorx
External Interface : GigabitEthernet2
=====
```

Options

```
c : Update Gateway Credentials
e : Update External Interface
p : Update Proxy Details
n : Update DNS Server
k : Update Connector Package Verification Key
l : Modify log level for Cloud Connector
h : Go to home menu
q : Quit
```

```
=====
Select an option from the menu:
```

ステップ 4 : 次のメニューから、クラウドコネクタのログレベルを選択します。

```
=====
Number      Log Level
=====
1           DEBUG
2           INFO
3           WARNING
4           ERROR
5           CRITICAL
=====
```

ステップ 5 : 1を押して、ログレベルをDEBUGに設定します。

```
=====
Webex Managed Gateway Connector
```

```
=====  
Cloud Connector log level is set to : 1  
  
=====  
Number      Log Level  
=====  
1           DEBUG  
=====  
Select option h for home menu or q to quit:
```

手順 6 : hを押して、ホームメニューに移動します。

```
=====  
Webex Managed Gateway Connector  
=====  
Options  
s : Display Status Page  
v : View and Modify Cloud Connector Settings  
e : Enable Guestshell  
d : Disable Guestshell  
l : Collect Logs  
r : Clear Logs  
u : Uninstall Connector  
p : Apply Patch  
q : Quit  
  
=====  
Select an option from the menu:
```

手順 7 : 問題を再現し、lを選択してコネクタログを取得します。完了すると、コマンドラインに次のように表示されます。

```
=====  
Webex Managed Gateway Connector  
=====  
  
Log files are collected and stored at location  
  
bootflash:/guest-share/gateway_webex_cloud_logs_2025025014034.tar.gz  
=====  
Select option h for home menu or q to quit:
```

ステップ 8 : bootflash URLをコピーしてqを押し、GuestShellを終了します。



注:TCLスクリプトは、`tclsh bootflash:gateway_connector/gateway_onboarding.tcl`を使用して、ブートフラッシュメモリから直接再起動できます。これにより、コマンドが実行されるたびに、ゲートウェイはスクリプトをダウンロードしません。

## コネクタログのエクスポート

コネクタログはブートフラッシュディレクトリに保存されます。FTP、SCP、TFTP、SFTP、およびその他のファイル転送ネットワークプロトコルを使用できます。使用できるプロトコルは環境によって異なります。

この例では、コネクタログの転送にTFTPサーバが使用されていることを前提としています。必要に応じてログを変更してください。

ステップ 1: ゲートウェイCLIで次のコマンドを追加します。

```
Router#copy bootflash:/guest-share/gateway_webex_cloud_logs_2025025014034.tar.gz tftp://
```

/

.tar.gz

ステップ 2 : TFTPサーバのアドレスを入力します。

Address or name of remote host []?

ステップ 3 : ファイル名を確認し、Enterキーを押します。

Destination filename [gateway\_webex\_cloud\_logs\_2025025014034.tar.gz]?

!!

32137 bytes copied in 4.714 secs (6817 bytes/sec)

Router#

ステップ 4 : .tarファイルをCisco TACケースにアップロードします。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。